

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年1月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102084
法人名	医療法人 徳洲会
事業所名	医療法人徳洲会 グループホーム東谷山
所在地	鹿児島県鹿児島市東谷山二丁目49番10号 (電話) 099-260-8200
自己評価作成日	令和4年11月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年12月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・生活支援において、ADL自立されている方にはその日の体調に応じて朝の掃除や軽作業に取り組んで頂くことで残存機能能力を活かせる様に支援を行っている。
- ・レクリエーションは1週間で違った内容を取り入れて実施し、毎月の壁画をスタッフと一緒に作成し、コミュニケーションを図り楽しんで参加して頂ける様なレクを行います。また、食事前の嚥下体操をする事で誤嚥防止に努めています。
- ・入浴時は入居者様一人ひとりに合わせ自尊心を傷つけないように配慮し、ゆっくりと身体をリラックスして入って頂けるよう心掛けている。
- ・医療面においては24時間体制で新杏クリニックと連携をとっており、急変時にも対応して頂けます。また、週に一度訪問看護も入居者様の状態確認に来てもらっています。
- ・コロナウイルス感染防止の為、外出を中止している中、1つの楽しみでもある食事を入居者様から何を召し上がりたいか聞いたうえで、外からの食事を提供しつつも違った食べ物を味わって頂いている。
- ・11月より今まで面会を中止していたが、感染対策を徹底した上で再開し、入居者様・ご家族様に喜んで貰えるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所はビルの2~3階にあり、医療機関と24時間連携体制で月2回の訪問診療と週1回母体法人からの訪問看護で健康管理を行い、必要時は歯科の訪問診療もある。また、看取りケアでは主治医や看護師、訪問看護、薬局、家族、ケアスタッフと連携しチームケアで支援している。
- ・月1回の弁当日を設けたり、ホーム裏の公園に散歩に出かける等の楽しみが持てる支援を工夫している。
- ・コロナ禍で外部との交流は自粛しているが、感染対策を徹底し、専門学校の看護・介護の実習生を受け入れている事で、学生の学びから職員も多くの学びが得られている。
- ・職員は利用者とのコミュニケーションを余裕を持って関わり、常に利用者第一目線で意見交換しその人らしい生活を支援している。
- ・管理者は職員の思いや相談に対応し、自分の思いや考えを伝えることで職員は自分発見に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を意識した理念のもと職員全員で地域生活の継続的支援をする事を大切にしている。	法人理念を基に地域密着型サービスの事業所理念を、毎朝申し送り時に皆で唱和し実践に繋げている。毎月の職員会議や日々の場面での声掛けで振り返り、次に繋がる様にしている。理念は各ユニットやエレベーターに掲示し、パンフレットにも掲載している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の中、事業所、地域との付き合いが難しく町内会の活動等にも参加できない状況であるが、コロナの終息次第で入居者様と共に活動に参加していきたい。	町内会に加入し、公園の清掃活動に参加していたが、今年はコロナ禍で自粛している。事業所として感染対策を徹底し専門学校の看護・介護の実習生を受け入れたり、家族からの野菜のおすそ分けがある等、地域との交流に努めている。地域から電話での相談にも気軽に対応している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の機会に民生委員、町内会長の方々へ状況説明し理解と協力を得ている。現在コロナの為会議が開催できない為、お便り等で情報をお伝えしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センタースタッフや、町内会長、民生委員、入居者様ご家族と意見交換を行い、サービス向上に繋げられるよう取り組み今後は、ご家族の交流の場を設けていきたい。	コロナ禍により、職員のみで議題を提示し、入居者の現状や条件付きの面会について等、事業所の活動状況を定期的に運営推進会議参加者に郵送し、そこでの意見をサービス向上に活かせるようにしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市の保護課、市社協福祉サービス支援員と緊密に連携を取り、ホームよりお便り等での日常のケアサービス状況を伝え、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市担当者とは窓口に出向き報告や相談をしている。生活保護課とは電話相談や情報を共有し、日常のケアサービス状況を伝えている。市主催の研修にリモートで参加したり、直接参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束適正委員会のもと、勉強会を随時行い身体拘束のないケアに取り組んでいる。職員全員が意識し安心、安全な環境づくり、ケアに努めている。	3ヶ月毎の委員会で身体拘束の具体的な行為やスピーチロック、虐待について勉強会や意見交換をして身体拘束のないケアに努めている。事業所が2～3階にある為、安全目的で玄関の施錠はしている。床センサーの使用は家族の了解を得て定期的に話し合い記録している。帰宅願望がある場合は声かけし散歩支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会のもと、勉強会を行い職員一人ひとりの意識を高め虐待もなく適切なケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市の社会協議会の行う福祉サービス支援事業を活用し、権利擁護に努めたり、市の保護課担当者との意見交換を行い、対応している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の際契約書、重要事項の等の説明を十分にし同意を得ている。内容での疑問点等がある場合も納得が得られるよう再度説明等している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情受付窓口等を設けている。契約書においても行政の苦情受付機関も明記し外部の受付先も案内している。	利用者の意見や要望は日々聞いている。家族からは感染対策徹底し条件付きではあるが面会時に利用者の現状報告し意見を聞いたり、電話で聞く等話を聞く機会を設けている。また、毎月「東谷山便り」で生活状況や健康状態を写真を添えて報告し意見や要望を聞き、運営に反映させるようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や業務の中でも意見交換する時間を設けたりと、管理者は可能な限り反映できるよう努めている。	管理者は毎月の職員会議、各ユニットの申し送りやカンファレンス、業務の中でも意見や提案を聞き相談にも応じている。年1回個人面談を行うなど、職員が働きやすい環境づくりを心がけ、統一性がなかった朝食時間を一定の時間に統一する等反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員と話す時間を設け、各自が働きやすい環境作りをしている。又、研修等参加したい研修にも参加できるよう情報提供している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的な研修の機会を設けている。又、外部の研修にも参加し一人ひとりのスキルアップに繋げている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同グループの介護老人保健施設のスタッフに業務に入っていたいたり、その際に意見交換や、取り組める事等サービスの質の向上に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安や悩みを随時傾聴したり、声かけや必要な対応を行い安心して生活ができる様努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に意見要望等を聞き、安心していただけるように対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様の利用するサービスを見極め必要に応じ、サービス内容の改善に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その人らしさを尊重し、出来る事を手伝ってもらおう等して協働しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>月1回ご家族へお便りで近況報告をし、ご家族と本人様の関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>感染対策で面会制限があり、お声の聴きたい方には、電話での対応を行っています。</p>	<p>感染対策でマスクとフェイスシールドを用いて短時間の面会であるが家族との交流を大切にしている。電話・はがき・手紙の取り次ぎ支援や馴染みの訪問理美容や職員同行で馴染みの美容室での整髪支援・車窓からの花見等、個別で対応し馴染みの人や場所との関係が途切れない支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>洗濯物たたみや貼り絵等、協力し支え合える支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了時、暮らしの継続性が損なわれない様に要望に応じて、支援に努めていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人の思いや意向の把握に努め、本人様のペースで生活が出来るように心がけている。	日常の会話の中で、特に入浴や掃除・オムツ交換時に思いや意向などを聞いている。困難な場合は表情や状態の変化、声かけ時の反応など行動面の変化がある場合、職員間で意見交換し、家族に相談することもあるが生活歴を基に思いに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に至るまでの生活歴を把握し、日常の過ごし方等に工夫をし支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その時々々の心身の状態を把握し、日常の過ごし方等に工夫をし支援に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様、ご家族、主治医、スタッフ関係者の意見を出しあい検討し、現状に応じた介護計画を作成している。	本人や家族・主治医・訪問看護師等の関係者の意見を基に、職員間の話し合いで利用者の持つ力やアイデアを基に現状に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直しているが、状況変化時はその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間での情報を共有し、気づき工夫を日々の生活の中で活かした介護計画で支援を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況に応じご家族と話し合い、負担の軽減に努め柔軟な支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人様の状態に合わせて地域資源を把握し活用を努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医と定期的な連絡をとり随時対応を行うと共に適切な医療が受けられる様に支援を行っている。	入居時に希望をきいて入居前からのかかりつけ医を確認し支援している。医療機関との24時間医療連携体制がある。月2回の訪問診療や週1回の訪問看護で健康管理し、必要時歯科の訪問診療を受けるなど適切な医療を受けられるよう支援している。他科専門外来受診は基本、家族同伴であるが職員が同行受診支援する場合もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護の看護師や往診に来られる看護師等とも状態変化があった際等相談し、往診や他医療機関への受診に繋げるように支援出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時だけでなく、入院中等も電話連絡にて情報提供をしていただき早期退院ができるように支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームでの看取りを望まれる方等は前もって本人様やご家族等と話し合いを重ね、意向の確認等を行っている。職員間でも重度化した際や、終末期について日頃より話し合い理解を深めあっている。	重度化した場合における看取り介護指針は契約時・入居時に説明し同意書がある。重度化した場合、職員も立会い主治医から家族に説明が有り、意向を確認し方向性を共有しケアに関わり、その都度、家族に意向確認している。看取り実績もあり、感染対策徹底し家族と共に関係者とチームケアで取り組んでいる	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時にも慌てない様に初期対応等のやり方も日頃から話し合ったり、訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時にも慌てない様に防災訓練や、発生時の対応等を周知徹底している。</p>	<p>年2回の防災訓練を昼夜想定で自主訓練を予定し、地震から火災発生時の避難訓練を実施している。防災機器は定期的に業者に依頼し点検している。年度末に消防署に参加依頼し、民生委員や家族に声かけしての防災訓練を予定している。備蓄は水、ご飯、味噌汁、乾パン、缶詰、お菓子類の食料を7日分準備し、カセットコンロも準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者様のプライバシーに配慮しつつ利用者様の意思を尊重して介護を行っている。</p>	<p>人権や接遇マナーとして言葉遣いや対応の仕方など、随時、勉強会をしている。日々の関わりでも不適切な言葉遣いや対応がある場合、指導している。排泄の失敗や入浴時は羞恥心に配慮し、さりげない声掛けの工夫でトイレ誘導したり同性介助で支援する等、利用者の意思を尊重し対応している。洋服の選択など、自己決定できる環境作りで支援している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者様が何でも言えるような環境づくりや声かけを行うなど工夫をしながら支援しています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ケアプランに沿って支援を行い同時に残存機能を発揮できる環境整備を行っています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>一日の生活の流れのメリハリをつける為、その都度身だしなみを整える支援をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の中で季節感を感じられる様、盛り付けに気をつけたり、下膳を手伝って下さる方へ感謝を伝えています。	主食と味噌汁はホームで準備し主菜は外部委託し利用者に応じて刻みやミキサー食で提供している。盛り付けや下膳を職員と一緒にしている。月1回弁当日を設けて遠足気分を楽しみ、誕生日はケーキや好みのピザ等でお祝いしている。ホットプレートで焼きそばを作ったり、煮物を作る等、食べるのが楽しみになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量と水分摂取量が不足な方へは声かけをし、状態に合わせて食事形態の工夫を行い栄養バランスの確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは習慣化されており、状態に応じて介助を行い口腔内のチェックと清潔を保っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尊心やプライバシーに配慮しながら、排泄の誘導声かけを行い、失敗時でも不安にならないように声かけを行っています。	排泄パターンをチェック表で把握し、利用者からの声掛けや個別に応じてトイレ誘導し排泄支援をしている。夜間ポータブルトイレ使用の利用者もいる。排泄用品はそれぞれに対応している。立位困難や昼夜おむつ使用の場合も自尊心やプライバシーに配慮し、トイレ排泄支援が出来る様になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを日頃から行い、その方に応じて処方された下剤も服用して頂き自然排便に繋げている。又、軽度の運動や食事の工夫を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日の予定を立て本人の意思に応じ対応している。着脱、洗濯等は残存機能を活かし支援している。	基本は週3回であるが冬場は週2回の午前中の支援である。湯温や時間帯は希望で対応し同性介助にも応じている。入浴剤や音楽も好みを取り入れ楽しめる支援をしている。入浴拒否がある場合は声掛けの工夫や足浴と更衣を毎日行い、無理強いせずに対応を工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	今までの生活環境を尊重し本人のペースで生活していただける様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師への相談、主治医により症状の変化の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホーム内活動で個々の役割を持っていただき自信をつけて頂く。日々の活動内容に関しても利用者様主体を心がけている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	体調や気候を考慮し可能な限り対応している。現在はコロナ対策の為行えていません。	年間計画は作成しているがコロナ禍で外出は自粛している。天気の良い日は事業所裏の公園に散歩したり園庭の花壇を見物や外気浴で気分転換を図っている。個別に馴染みの理美容室での整髪支援や医療機関受診支援している。ホーム内のレクリエーションで魚釣り・玉入れ・ミニ運動会・輪投げ・トランプ・カルタなど、日々変化させ楽しめるように工夫し支援に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の力に応じて、自己管理可能な方は所持していただき、外出時や買い物時に使ってもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	年賀状や個人別にグループホーム便りにて近況報告をしたり、いつでも電話のやり取りができる様支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は自由に過ごせ不安な音や光、冷暖房の風を受けない様に配慮し生活感や季節感を感じる装飾等をし心地よく過ごせる様に工夫しています。</p>	<p>リビングはオゾン発生器を設置し、定期的に換気を行い、温湿度計があり、エアコンで快適な環境に調整している。壁には毎月季節毎に利用者と一緒に壁画を作成し飾っている。個々にカレンダーを作り利用者は居室に飾っている。テーブルや椅子・テレビ・ソファを設置し、メダカを飼育し餌をやる等、それぞれが自由に居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりの決まった席がありテレビ視聴や他入居者様と会話さをれたり、自由に過ごせる環境づくりに努めています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にカレンダーや写真等を飾ったり、使い慣れた家具や馴染みの物を持ち込まれ安心して過ごせる環境を作っています。</p>	<p>居室は電動ベッド・タンス・エアコンを設置している。個別で空気清浄機・椅子・仏壇・位牌・遺影等が持ち込まれ、家族写真や孫・曾孫の写真が飾られ、自作のカレンダーも掛けられ、居心地よく過ごせる環境作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>身体状況に合わせ手摺りを配置し環境整備に努めています。個々の動線を考え、家具の配置、座席等決めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない